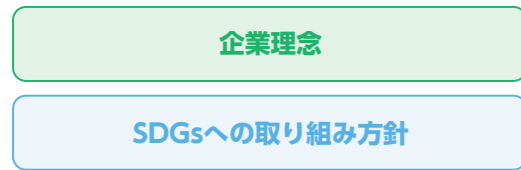


SDGsへの取り組み

SDGsについて

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17の目標・169のターゲットから構成されており、政府や企業に対して、行動が要請されています。

当社グループは、農薬製品、ファインケミカル製品、繊維資材製品の提供を通じて、SDGsの達成に貢献できると考えています。事業活動の推進にあたっては、SDGsとの関係性を整理し、関連付けています。



事業活動を通じた具体的な取り組み



SDGsへの取り組み方針、KPI、2021年度の主な取り組み、目標

SDGsへの取り組み方針	Social KPI	2021年度の主な取り組み	2025年度目標	2030年度目標	対応するSDGsの目標とターゲット
A. 全ての人々が幸福である社会の実現に貢献する。	健康経営優良法人の認定取得	主要事業所において健康関連の取り組み目標を設定	2025年度までに取得	維持	8.8
B. 製品の開発から廃棄に至る全ライフサイクルにわたり環境負荷を最小限に抑える。	エネルギー原単位 (2020年度比)	エネルギー原単位年平均1.6%改善 (5年度間)、岡山工場においてエネルギーマネジメントシステムを導入	5%以上削減	10%以上削減	7.3
C. 農薬製品の提供を通じて、持続可能な農業を支援する。	高拡散性粒剤の水稲作付面積割合	「サキガケ楽粒」2021年10月登録取得、高拡散性粒剤の拡販に向けた普及基盤を構築	5%以上	10%以上	2.4 8.2
D. ファインケミカル製品の提供を通じて、産業の技術革新に貢献する。	新製品の上市数	研究部門の要員を増強し、提案型受託業務を強化	2025年度までに累計60製品以上	2030年度までに累計130製品以上	8.2 9.5
E. 繊維資材の提供を通じて、産業の発展と豊かな社会づくりに貢献する。	リサイクル繊維の使用率	リサイクル繊維使用製品の試作を実施	10%以上	30%以上	12.5

経営計画との連動

長期経営計画「HOKKO Value Up Plan 2030」においては、2030年のあるべき姿を念頭に、企業理念に基づく「SDGsへの取り組み方針」を定めました。

この方針のもと、事業活動と社会課題解決の両面から検討を行い、社会的側面に関するKPI (Social KPI) を設定しました。

当社グループは、経営計画を着実に遂行することで、SDGsの達成に貢献していきます。

取り組みの推進

取り組みの推進にあたっては、各事業グループがそれぞれの事業活動において、SDGsへの取り組みを推進するとともに、2020年12月に設置した「SDGs委員会」において、進捗の管理、成果や課題の共有を図りながら、さらなる改善や新たな取り組みに向けた議論を進めています。

製品・商品の提供を通じてSDGsに貢献

農薬製品	ファインケミカル製品	繊維資材商品
農薬製品は、「世界の人口増加を支えるための食料増産」「農作物に発生するカビ毒の低減」「農作業の負担軽減」に寄与するなど、安定的・効率的な食料の確保と農業の省人化・省力化に貢献しています。	ファインケミカル製品は、消費者の方々が直接手にとる機会のない化学製品ですが、それは形を変えて身の回りの電化製品や医薬品などの原料として使われ、見えないところで皆さまのお役に立っています。	多機能で高機能な繊維資材商品は、自動車や家具、靴、靴、アパレル、ペット用品、防災、介護など産業用、消費者用の幅広い分野で使用され、産業の発展と豊かな社会づくりに貢献しています。

事業と関わりのあるSDGs	関連する主な活動	掲載ページ
目標2 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。	食料の安定供給に寄与する安全で安心な農薬製品を社会に提供しています。	p9-10
目標3 全ての人に健康と福祉を あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。	農薬製品は、強い毒性を持つカビ毒の発生を抑制し、私たちが健康被害から守っています。またファインケミカル事業では、医薬分野にも製品を供給しています。	p9-12
目標5 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女の子の能力強化を行う。	「コンプライアンス基本方針」「北興化学工業グループ行動規範」において、多様性の尊重を掲げています。女性の応募者の増大、管理職に占める女性割合の向上に取り組んでいます。	p17-18
目標6 安全な水とトイレを世界中に 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。	水質汚濁の防止に取り組んでいます。	p22
目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。	省エネルギー活動を推進しています。	p21
目標8 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する。	ISO45001の認証を取得し、労働安全衛生を推進しています。	p23
目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱 (レジリエント) なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。	農薬、ファインケミカル製品の研究開発、繊維資材の開発提供を通じ、イノベーションの推進を図っています。	p9-14
目標12 つくる責任 つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する。	化学物質、廃棄物の排出削減、適正管理に取り組んでいます。「HOKKO レポート」を発行し、持続可能性に関する情報を掲載しています。	p22, 24
目標13 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。	事業継続計画 (BCP) を策定しています。省エネルギーを推進し、CO ₂ の排出削減に取り組んでいます。	p18, 21
目標14 海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。	排水については、適正処理を行い、負荷低減を図っています。	p22
目標15 陸の豊かさを守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の防止・回復及び生物多様性の損失を防止する。	工場において、緑化を行っています。	p15
目標17 パートナリシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる。	新たな製品や技術の開発にあたっては、産官学の共同開発 (パートナーシップ) にも取り組んでいます。	p14